

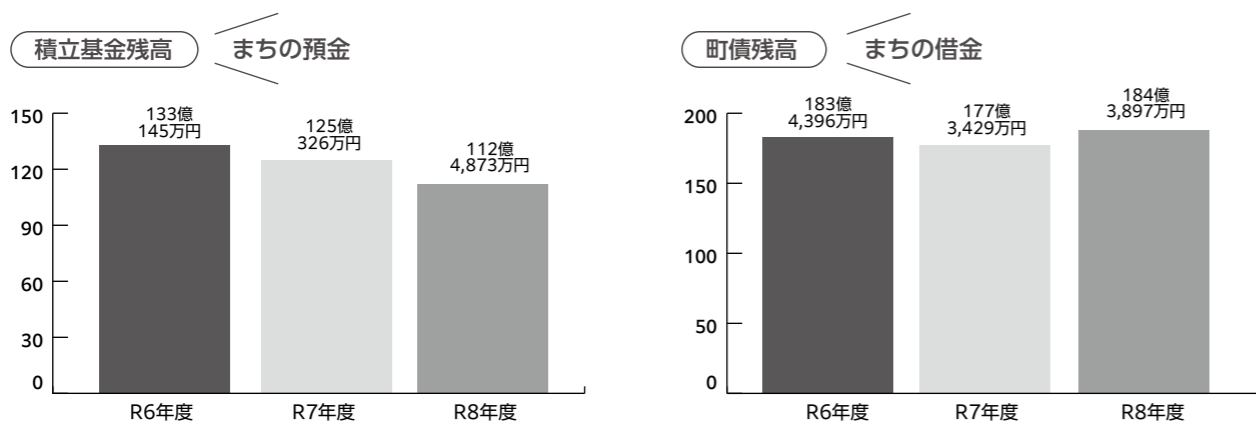
● 町民一人あたりの予算額(目的別一般会計歳出)

令和8年3月1日現在の人口 14,485人



※()内の金額は各目的別の全体の予算額
※総務費…一般的な管理経費や企画調整費などのほか、ふるさと納税に係る返礼品などの関連経費や基金への積立金なども含まれます。

● 基金残高と町債残高(一般会計)



● 令和8年度当初予算のうち、主な新規事業は次のとおりです。

- 新規** 公共ライドシェア運行・管理委託料
お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124
→野地・家地川・弘瀬地区の交通空白地帯を解消するため公共ライドシェア*を実施
*公共交通が不足する地域や時間帯に限定し、一般ドライバーが自家用車で有料送迎を行う制度
【予算額】1,643千円
- 新規** クリーンセンター銀河改修委託料
お問い合わせ先 環境水道課 ☎22-3119
→クリーンセンター銀河(廃棄物処理施設)の老朽化に伴う施設改修<3年間>
【予算額】219,211千円
- 新規** 防災ハザードマップ作製委託料
お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280
→新想定に基づく「洪水・土砂災害」「津波」ハザードマップを作製
【予算額】19,338千円
- 新規** 窪川地域学校施設等整備基本構想委託料
お問い合わせ先 学校教育課 ☎22-2594
→窪川地域の学校・保育所などの今後のあり方について構想を策定
【予算額】4,950千円

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-3111

令和8年度
当初予算の概要

四万十町の令和8年度当初予算が町議会3月定例会で可決されましたので、概要についてお知らせします。

● 予算編成の基本方針

- ①第2次総合振興計画の推進
～まちの将来像
「山・川・海 自然が人が元気です 四万十町」の実現～
- ②人口減少の克服と地方創生を目指して
～「デジタル田園都市構想総合戦略」に掲げた基本目標およびデジタル実装の基礎条件整備に体系付けた施策の推進～
- ③中・長期的な視点に立った予算編成への取り組み
- ④町民参画と行政の透明性の向上

以上のような基本方針のもと、一般会計における予算総額は、普通建設事業費の減少などにより、前年度と比較して7億3,300万円(3.8%)減少の184億4,600万円となりました。
また、国民健康保険事業など、8つの特別会計および水道事業会計、下水道事業会計を加えた全会計の純計(重複分を差し引いた)予算規模は244億4,059万円となっています。

● 会計別当初予算の状況

会計名	令和8年度 予算額	前年度 増減率
一般会計	184億4,600万円	▲3.8
特別会計	国民健康保険事業	21億1,120万円 ▲0.3
	国保大正診療所	4億2,140万円 ▲8.8
	国保十和診療所	1億60万円 ▲20.7
	大道へき地診療所	550万円 ▲9.8
	後期高齢者医療事業	3億9,260万円 5.0
	介護保険事業	26億500万円 ▲0.2
	特別養護老人ホーム窪川荘	4億3,170万円 0.7
	特別養護老人ホーム四十荘	3億1,030万円 0.6
水道事業会計	10億8,351万円 3.2	
下水道事業会計	1億2,555万円 ▲9.7	
合計	260億3,336万円 ▲2.9	
重複分を除く実質合計	244億4,059万円 ▲2.7	

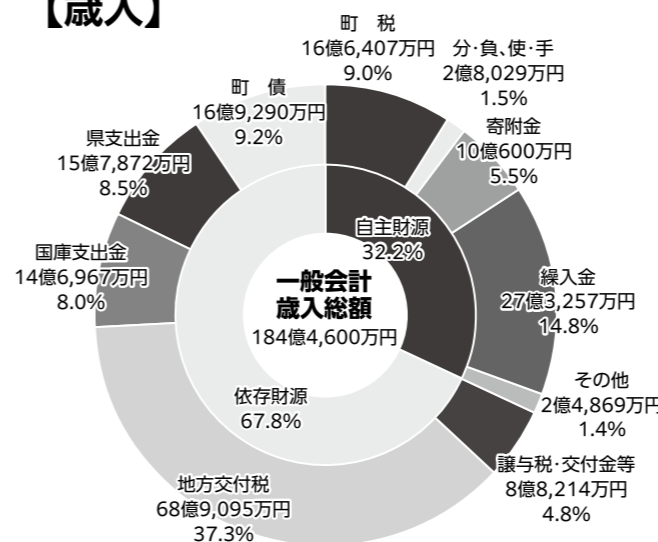
令和7年度 一般会計予算額
191億7,900万円

令和7年度から
7億3,300万円減少

令和8年度 一般会計予算額
184億4,600万円

● 一般会計当初予算の概要

【歳入】



【歳出】 [性質別]

